

## 社会福法人十和会 令和4年度 事業計画

### 法人全体

- ①令和3年度中全ての事業所に於いて入居者についてコロナ陽性者はいなかった  
たので、令和4年度に於いても引き続き陽性者が出ないように感染対策を行っ  
ていく。  
また、職員についてはPCR定期検査で陽性者が出たが、令和4年度におい  
ても施設以外でも感染対策を行い、入居者に感染しないようにする。
- ②令和3年度中、派遣職員より当法人への採用に切り替えを行ったが、今年度  
に於いても同様に切り替えを行っていく。
- ③豊川の郷建物が建築後15年経過しており、設備等取替を行っていく。
- ④職員の知識及び質の向上のため、研修等の幅を拡大するための環境整備を行  
っていく。

### 特別養護老人ホーム豊川の郷（特養）

- ①目標稼働率 93%
- ②年間目標  
新型コロナウイルス感染者を出さないよう、手洗い・消毒・マスク着用など基  
本的な予防策の徹底周知に努める。  
災害発生時におけるBCP(業務継続計画)の見直し
- ③食事について  
その時季に応じた食事を提供する。  
(1月：おせち料理、2月：節分<巻き寿司>など)  
利用者様に人気のある料理を献立に取り入れる。  
(にぎり寿司・天ぷらは1年に2回ずつ献立に組みこむ)  
行事食をする際は委託業者と事前に打ち合わせをし、スムーズに行える  
ようにする。  
食中毒など出さないよう、衛生面に気をつけ安全な食事を提供する。  
非常時の食事について整備する。(非常食の検討・購入など)
- ④栄養ケアマネジメントについて  
他職種、委託会社と協力して個々に応じた食事を提供する。(加算に準じた対  
応を行う)  
研修にも参加し仕事に生かせるようにする。
- ⑤機能訓練について  
特養入所の入居者の病歴・体調・年齢などを考慮しながら、週1回(必要な方

はできる限り週2回)の機能訓練を実施する。

ショートステイのご利用者様も週1回の機能訓練を実施する。また、心身状態の変化に対応し、日常生活動作の維持につなげられるよう機能訓練プログラムの見直しもしていく。

#### 特別養護老人ホーム豊川の郷 (ショートステイ)

①目標稼働率 95%以上

②年間目標

新規の人や緊急で利用された人に定期的に利用して頂ける様に働きかける。  
空き部屋、入院部屋等を活用するため緊急利用希望の方を極力受け入れていく。

#### デイサービスセンター豊川の郷

①目標稼働率 73%

②年間目標

今年度はスタッフも定着し業務内容をしっかりと把握できているスタッフばかりになっているが、新規利用者や難しい介助の利用者への対応をするスタッフが少なく、介護度の高い利用者は一定スタッフが対応する形になっていたが、現在は、すべてのスタッフに経験を積ませている。今後はスタッフの介護スキルの向上と研修や勉強会などに積極的に参加し、介護に対する意識改革を促していきたい。

レクリエーションに関しては、スタッフ同士のコミュニケーション不足を感じるところがある。レクリエーションについてもミーティングなどを行い意思統一する必要がある。

スタッフの技術力の向上で、利用者の定着率と体験した利用者の獲得率を向上するのが目的である。また、多様な経験をすることでスタッフの自信になればと考えている。

#### ケアプランセンター豊川の郷

①稼働率目標 80%

②年間目標

事業所や関係機関との十分な連携を行い、質の高いケアマネジメントを効率的に行う。

オンライン研修等を積極的に活用し、介護支援専門員としての知識、技術を習得し、支援方法の改善と専門性の向上を図る。

認定調査等、市町村からの委託業務についても積極的に行う。

## ヘルパーステーション豊川の郷

### ①年間目標

職員間で連絡、相談しやすい職場環境づくりをし、統一した利用者満足度の高いサービスが提供できるように努める。

居宅介護支援事業所や他サービス提供事業所と連携し、健康管理やリスク管理を行い、在宅生活を長く続けられる環境づくりを行う。

利用者、家族との丁寧な対応を心がけ、信頼関係の構築に努める。

法人内外の研修に積極的に参加し、技術や知識の習得に努める。

## サービス付き高齢者住宅なごみの里

### ①稼働率 90%以上

### ②年間目標

関係機関、紹介会社と連携し、入居希望者の対応を迅速に行う。

入居者に対し生活支援サービスに加え、保健医療サービスや福祉サービスを円滑に利用できるようにし、心身機能の維持向上を図り、安心して生活していただけるよう努める。

入居者の状況を正確に把握し、入居者の意思も尊重しながら、的確なサービス支援を行っていく。